

2023年度 社会福祉法人 めやす箱 就労部門 事業報告

(1) 概要

法人理念を基に2023年度は、「稼働率の安定」、「働きやすい環境づくり」「ニーズ調査とサービスの質の向上を部門目標に掲げ、部門職員一体となり事業運営に取り組んでいる。

2023年4月に新規事業所「つむぎ」が開設し、8事業所での運営となっている。平均工賃の推移は2022年度11,407円、2023年度11,233円と部門全体としては低下の結果となったが、新規事業所を除く7事業所の平均工賃は11,933円、微増の結果となっている。

(2) 目標に対する取り組み

①稼働率の安定

平均稼働率は2022年度96.1%、2023年度93.2%。新規事業所の開設に伴い全体的に低下することが予測されていたが、2.9%の減少に留めることが出来ている。主な取り組みとして2点挙げられる。

- ・各事業所に関係する相談支援事業所との連携強化を図り、在宅を含めた総合的な支援を提供できるよう努め、安定した利用に繋がるようアプローチを行っている。
- ・利用者との面談機会を増加し、メンタルケアを強化することで休みがちな利用者の利用日数増加に繋げている。

新規利用者の確保は重要項目であるが、倉敷市内に就労継続支援B型事業所が増え続けており、集客が難しい状況である。その為、2023年度は新規利用者の確保に向けた営業強化と並行して、利用者の安定した利用に焦点を当て、職員のアセスメント能力、メンタルヘルスの知識向上を図り、部門全体の稼働率安定に繋げている。

②働きやすい環境づくり

職員向けの業務改善アンケートを上半期、下半期、計2回実施している。アンケートの実施時期に合わせて、管理者との業務改善に関する個別面談の機会を設け、事業所の課題の洗い出し、共有を図っている。全体的な課題、取り組みとして2点挙げられる。

- ・平均工賃やサービスの質の向上を求めた結果、業務過多の状況が見られていた為、業務の洗い出し、優先順位の確立、業務精査、業務削減に取り組み、部門全体で残業時間の減少に繋げている。
- ・チームワーク、連携に課題を感じている事業所が多かった為、各事業所でチームワークの勉強会や課題改善に向けた検討会を実施し、チーム力向上を図っている。適切な人員配置にも配慮し、7.5:1の配置に加え、目標工賃達成指導員を安定的に配置できる人員を確保することで業務負荷の分散、安定したサービス提供に繋げている。

③ニーズ調査とサービスの質の向上

例年、満足度調査で多くの意見をいただく「作業」と「行事」について、別途ニーズ調査を行い、作業や行事についての具体的な意見抽出を行っている。

- ・作業に関しては、部門の方向性として、利用者の作業の幅の拡大を目指しており、職員の就労支援能力向上に注力している。ニーズ調査からも新たな作業種や作業工程への挑戦希望が多く、部門全体で取り組んでいる。平均工賃に影響するまでの結果には至っていないが、日々個別訓練に取り組みながら就労支援を行った結果、利用者個々の作業能力の向上が見られており、新たな作業工程を習得される利用者が増え、事業所全体の作業効率向上に繋げることが出来ている。工賃判定表においても点数の向上が見られ、一定の効果が得られている。また、事業所内だけではなく、取り組み内容について部門全体の発表会という形で共有することで、全体としての支援力向上にも繋げている。
- ・行事に関しては、コロナの影響で縮小、減少していた行事活動を大幅に拡大し、満足度向上に向け取り組んでいる。行事内容はニーズ調査から抽出し、可能な限り希望に沿った行事を計画、実施した事で、満足度の向上と共に、稼働率の安定にも一定の効果が得られている。作業と余暇のメリハリをつけることで、作業意欲も向上しているとの声も聞かれており、継続的に取り組むことで更なる意欲向上に繋げていく。

満足度調査では多岐にわたり意見をいただいているが、全体的な改善に加え、重点的な改善項目を設けたことで、より良いサービス内容へと繋げることが出来ている。

(3) 年間活動内容

| | |
|-----|--------------------------------------|
| 4月 | 部門会議 |
| 5月 | 部門会議 就労部門通信 VOL. 6 発行 |
| 6月 | 部門会議 業務改善アンケート |
| 7月 | 部門会議 |
| 8月 | 部門会議 |
| 9月 | 部門会議 |
| 10月 | 部門会議 就労部門交換研修 就労部門通信 VOL. 7 発行 |
| 11月 | 部門会議 就労部門交換研修 |
| 12月 | 部門会議 |

| | |
|-----|--------------------------------------|
| 1 月 | 部門会議 業務改善アンケート |
| 2 月 | 部門会議 |
| 3 月 | 部門会議 就労部門通信 VOL. 8 発行 事業所研修発表会 |

(4) 今後の課題

2024年5月1日に新規事業所「みのり（就労継続支援B型20名）」の開設を予定しており、9事業所での運営体制となる。就労継続支援B型の集客が難しい状況は変わっておらず、事業所増加に伴う更なる営業、サービスの質の向上が急務と言える。2023年度に発表された報酬改定においても、作業収入が基本報酬に比例する方向性が以前にも増して顕著に見られている為、稼働率の安定、作業収入の増加が当面の課題となる。

- ・稼働率の安定に関して、相談支援事業所と支援学校のリストアップを行い、2024年度からはエリア毎に担当を設け、より密接に営業活動を行っていく。定期的に地域ニーズを把握しながらサービス内容の修正を行い、新規利用者の獲得に繋げていく。現状、ニーズとして増加傾向にある短時間利用や、身体障害者の受け入れ拡大を視野に入れ、人員・環境整備を進めていく。
- ・作業収入の増加に関して、2024年度は情報収集の強化を図り、下半期から次年度にかけて作業開拓が推進できるよう準備を進めていく。地域でマッチングできそうな資源の調査、外部研修への参加による営業・開拓能力の向上を図り、利用者の望む作業内容、高工賃の還元を目指していく。

全体的な課題として、2023年度、2024年度と事業展開を行った結果、職員育成が急務となっている。新たに入職された職員の育成に加え、管理者、サービス管理責任者のポスト問題も浮上しており、職員個々の成長、能力開拓等、人材育成に注力していく必要がある。特にサービス管理責任者を担うための要件を満たしている職員が少ない為、実務経験を満たす期間にマネジメントの育成を行い、サービス管理責任者を担える人材を確保していく。

車両事故に関して、部門全体で7件発生している。過去3年内で最多件数となっており、安全運転に対する意識向上に加え、運転業務の負荷に対する配慮も検討していく必要がある。2024年度は各事業所の車両担当が集まる機会を設け、状況把握、取り組みの共有、改善点の検討を進め、部門全体で車両事故減少に取り組めるよう体制構築を目指していく。

1. 概要

法人基本理念である「利用者主体のニーズの追求」「ナンバーワンの福祉サービスを目指す」「職員が働きやすい環境作り」を基本方針とし、就労分野の特性を活かした福祉サービスの提供を行いました。利用者のニーズに応じたサービスの提供を行うと共に、個別支援計画の作成から実行まで本人・保護者の要望を反映し、個別支援に取り組んでいきました。

事業目標

- ① 「稼働率の安定」
- ② 「働きやすい環境づくり」
- ③ 「ニーズ調査とサービスの質の向上」

上記3つを事業目標として、ご利用者個々のニーズに応じたサービスの提供を行うとともに、個別支援計画の作成から実行までご本人・保護者のご要望を最大限尊重し、支援を行いました。

① 稼働率の安定

稼働率に関して、年間平均稼働率は96.9%であり、概ね安定した運営が出来ております。各相談支援事業所や支援学校とは良好な関係作りを行えるよう連携強化に努めて参りました。また、2023年度中にご利用者2名の契約に繋がられています。ご利用者が安定して来所出来るよう、要望や思いを聞き取る場面を設け、それらを支援や活動へ取り入れることで、入院など特別な理由を除き、退所者を出すことなく運営を行うことが出来ました。

② 働きやすい環境づくり

職員の連携強化、就業時間の厳守について取り組みを行ってきました。年間2回の業務改善アンケートの実施、アンケート結果を基に定期的な職員との面談を行い、課題点の抽出、解決に向けた取り組みを行ってきました。取り組みの結果、「職員の働きやすさ」、「残業はない」、「連携が取れている」の項目については大きく改善を図ることが出来ました。

③ ニーズ調査とサービスの質の向上

年度初めにご利用者・ご家族を対象にニーズ調査を実施しました。「作業」、「余暇活動」の二点を中心に要望を集約し、実現化するための取り組みを行ってきました。

作業支援に関して、ご利用者が携わりたいと考えられている作業種や、作業工程に関わる機会を意図的に設け、ご本人の作業能力の向上や作業の幅を広げることが出来ました。ご利用者へ作業を提供するため、職員はご利用者の特性の理解や、作業の提供方法を試行錯誤する事で職員の支援力を向上させることにも繋がりました。

余暇支援に関して、ニーズ調査にて集めさせていただいた要望をより多く具現化できるよう努めて参りました。ご利用者が希望された活動を実現させることで、「自分の意見を取り入れてもらえてうれしかった」、「貴重な体験が出来た」という声が多数寄せられ、満足度を向上させることが出来ました。

2. 利用者・職員の状況

(1) 就労継続支援B型 実人数 (定員 20名) (単位:名)

| | 2023年 | | | | | | | | | 2024年 | | | 合計 |
|-----|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-----|-----|-------|
| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | |
| 実績数 | 424 | 422 | 424 | 404 | 428 | 421 | 444 | 422 | 416 | 420 | 402 | 454 | 5,081 |

(2) 利用(開所)状況 (単位:日)

| | 2023年 | | | | | | | | | 2024年 | | | 合計 | |
|------|-------|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|-------|----|----|----|-----|
| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | | |
| 開始時間 | 9:00 | | | | | | | | | | | | | |
| 終了時間 | 15:00 | 22 | 22 | 22 | 22 | 22 | 21 | 24 | 23 | 23 | 22 | 21 | 22 | 266 |

(3) 職員の状況 (2024年3月31日現在) (単位:名)

| 区分 | 管理者 | サービス管理責任者 | 職業指導員 | 生活支援員 | 目標工賃達成指導員 | 合計 |
|-------|-----|-----------|-------|-------|-----------|----|
| 常勤職員 | 1 | (1) | | 3 | 1 | 5 |
| 非常勤職員 | | | 1 | | | 1 |

※管理者、サービス管理責任者兼務

(4) 職員の勤務体制 (2024年3月31日現在)

A勤: 7:45~16:45 8時間 (60分休憩)

B勤: 8:00~17:00 8時間 (60分休憩)

C勤: 8:45~17:00 7.5時間 (45分休憩)

3. 主な年間行事

| 実施月 | 実施行事 |
|-----|--|
| 4月 | 花見: 岡山後樂園の散策を実施。 |
| 5月 | BBQ: いっぱいっばにて実施。カレーライス作りを行う。 |
| 6月 | ランチ会: 弁当屋どんちゃんにお弁当を注文し実施。 |
| 7月 | ボウリング: アミパラにて実施。 |
| 8月 | 制作活動: いっぱいっばでうちわ作成を実施。 |
| 9月 | ランチ会: 弁当屋どんちゃんにお弁当を注文し実施。 |
| 10月 | 動物園散策: 池田動物園の散策を実施。 |
| 11月 | 消防署見学: 倉敷消防署にて実施。 |
| 12月 | クリスマス忘年会: いっぱいっばにて実施。ハヤシライス作り、飾りつけを行う。 |
| 1月 | 初詣、書初め: 鯉喰神社にて初詣、いっぱいっばにて書初めを実施。 |
| 2月 | 陶芸体験: アイビスクエアにて、陶芸教室(絵付け体験)を実施。 |

| | |
|----|--------------------|
| 3月 | ランチ会：さくら弁当にて注文し実施。 |
|----|--------------------|

4. 施設整備

① エアコン設置 2023年6月12日

| 事業の収支について | | | |
|------------|---------|-------------|---------|
| 収支内訳（資金内訳） | | 支出内訳（事業費内訳） | |
| 項目 | 金額（円） | 項目 | 金額（円） |
| 自己資金 | 376,700 | 器具及び備品取得支出 | 376,700 |
| 計 | 376,700 | 計 | 376,700 |

② PC購入 2023年9月14日

| 事業の収支について | | | |
|------------|---------|-------------|---------|
| 収支内訳（資金内訳） | | 支出内訳（事業費内訳） | |
| 項目 | 金額（円） | 項目 | 金額（円） |
| 自己資金 | 369,380 | 器具及び備品取得支出 | 369,380 |
| 計 | 369,380 | 計 | 369,380 |

1. 概要

法人基本理念である「利用者主体のニーズの追求」「ナンバーワンの福祉サービスを目指す」「職員が働きやすい環境作り」を基本方針とし、就労分野の特性を活かした福祉サービスの提供を行いました。利用者のニーズに応じたサービスの提供を行うと共に、個別支援計画の作成から実行まで本人・保護者の要望を反映し、個別支援に取り組んでいきました。

事業目標

- ① 「稼働率の安定」
- ② 「働きやすい環境づくり」
- ③ 「ニーズ調査とサービスの質の向上」

上記3つを事業目標として、ご利用者個々のニーズに応じたサービスの提供を行うとともに、個別支援計画の作成から実行までご本人・保護者のご要望を最大限尊重し、支援を行いました。

① 稼働率の安定について

職員の支援力（メンタルケア）、アセスメント力を高めるべく、毎月の職員会議にて独自のアセスメントシートを用いて勉強会を実施しました。精神的不安定なご利用者への対応についても、一緒に面談を行い、職員に対し受容傾聴共感の姿勢や声かけの仕方など指導しています。休みがちなご利用者に対してもこまめに電話連絡を行い、意欲喚起を行っています。利用者1名を部門内のB型事業所へ利用調整を行った上で、年間平均稼働率104.6%という成果を上げています。

② 働きやすい環境づくり

業務改善アンケートを通じて事業所の課題を抽出し、職員一丸となって働きやすい職場作りに取り組みました。残業を減らし、職員のゆとりを作るべく業務精査を行い、スケジュール管理を徹底することで、残業時間の減少に繋がっています。職員仕事を見直し利用者のスキルアップに取り組むことで、少しずつゆとりが生まれています。

③ ニーズ調査とサービスの質の向上

取り組みたい作業や実施して欲しい行事活動など面談の中で聞き取りを行い、実施しています。作業においては、計画的に機会を確保できるようスケジュールボードを作成し、スキルアップに取り組みました。携わる作業や出来ることが増え、ご利用者の工賃判定の点数も向上しています。判定やアセスメントを全職員が担当して付けることで、支援の視点に対する理解が深まり、サービスの質の向上に繋がっています。ステップアップを希望するご利用者に対し、キョウセイの工場見学を実施し、自分たちが取り組んだ部品がどのように使われるのか、又工場内で働く障害者の方々を間近に見たことで、仕事に対する責任感や意欲向上に繋がっています。

2. 利用者・職員の状況

(1) 就労継続支援B型 実人数（定員20名）（単位：名）

| | 2023年 | | | | | | | | | | 2024年 | | | 合計 |
|-----|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-----|------|----|
| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | | |
| 実績数 | 510 | 511 | 497 | 480 | 459 | 409 | 472 | 429 | 430 | 429 | 416 | 462 | 5504 | |

(2) 利用 (開所) 状況

(単位: 日)

| | | 2023年 | | | | | | | | | 2024年 | | | 合計 |
|------|-------|-------|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|-------|----|----|-----|
| | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | |
| 開始時間 | 9:00 | 22 | 22 | 22 | 22 | 22 | 21 | 23 | 22 | 23 | 22 | 21 | 22 | 264 |
| 終了時間 | 15:00 | | | | | | | | | | | | | |

(3) 職員の状況 (2024年3月31日現在) (単位: 名)

| 区分 | 管理者 | サービス管理責任者 | 職業指導員 | 生活支援員 | 目標工賃達成指導員 | 合計 |
|-------|-----|-----------|-------|-------|-----------|----|
| 常勤職員 | 1 | (1) | 1 | 1 | 1 | 4 |
| 非常勤職員 | | | | 2 | | 2 |

※管理者、サービス管理責任者兼務

(4) 職員の勤務体制 (2024年3月31日現在)

A勤: 8:00~17:00 8時間 (60分休憩)

B勤: 8:15~17:00 8時間 (45分休憩)

C勤: 8:45~17:00 7.5時間 (45分休憩)

3. 主な年間行事

| 実施月 | 実施行事 |
|-----|---|
| 4月 | お花見: マルナカにて買い物をした後、早島公園にて昼食を喫食する。 |
| 5月 | お楽しみ弁当: さくら弁当にてお弁当を注文し、事業所にて喫食する。 |
| 6月 | 外出活動: 農マル園芸にて、スイーツを喫食し、買い物をする。 |
| 7月 | お楽しみ弁当: 又来軒にてお弁当を注文し、事業所にて喫食する。 |
| 8月 | 夏祭り: 事業所にて、素麺、お好み焼き、フライドポテト、アメリカンドッグ、ジュース、から揚げを利用者と共に調理し、喫食する。ゲームとしてヨーヨー釣り、射的を実施する。 |
| 9月 | 茶話会: 白十字にてケーキを注文、事業所にて喫食し勉強会 (施設外就労) を実施する。 |
| 10月 | ポッチャ大会: 倉敷体育館にてポッチャをする。 |
| 11月 | 茶話会: シャトレゼにてケーキを注文、事業所にて喫食し勉強会 (防災かるた) を実施する。 |
| 12月 | クリスマス会: ケンタッキーにて昼食を注文し、事業所にて喫食する。タイルコースターの製作活動を実施する。 |
| 1月 | お楽しみ弁当: さくら弁当にてお弁当を注文し、事業所にて喫食する。 |
| 2月 | お楽しみ弁当: 弁当屋どんちゃんにてお弁当を注文し、事業所にて喫食する。 |
| 3月 | 外出活動: 渋川水族館へ行った後、深山公園権太茶屋にて昼食。道の駅にて買い物と散策をする。 |

4. 施設整備

①公用車の購入（プレオ） 2024年1月16日

| 事業の収支について | | | |
|------------|----------|-------------|----------|
| 収支内訳（資金内訳） | | 支出内訳（事業費内訳） | |
| 項目 | 金額（円） | 項目 | 金額（円） |
| 自己資金 | 835,860円 | 器具及び備品取得支出 | 835,860円 |
| 計 | 835,860円 | 計 | 835,860円 |

②公用車の購入（ノア） 2024年3月28日

| 事業の収支について | | | |
|------------|----------|-------------|----------|
| 収支内訳（資金内訳） | | 支出内訳（事業費内訳） | |
| 項目 | 金額（円） | 項目 | 金額（円） |
| 自己資金 | 909,040円 | 器具及び備品取得支出 | 909,040円 |
| 計 | 909,040円 | 計 | 909,040円 |

1. 概要

法人基本理念である「利用者主体のニーズの追求」「ナンバーワンの福祉サービスを目指す」「職員が働きやすい環境作り」を基本方針とし、就労分野の特性を活かした福祉サービスの提供を行いました。利用者のニーズに応じたサービスの提供を行うと共に、個別支援計画の作成から実行まで本人・保護者の要望を反映し、個別支援に取り組んでいきました。

事業目標

- ① 「稼働率の安定」
- ② 「働きやすい環境づくり」
- ③ 「ニーズ調査とサービスの質の向上」

上記3つを事業目標として、ご利用者個々のニーズに応じたサービスの提供を行うとともに、個別支援計画の作成から実行までご本人・保護者のご要望を最大限尊重し、支援を行いました。

① 稼働率の安定について

2023年度は、現在契約しているご利用者が安定して通所していただくことに重点を置いた事業運営を行い、その結果、年間を通して平均稼働率100%を維持することができました。2024年度も同様、通所していただいているご利用者との定期的な面談や欠席時等の連絡を密に行っていきながら、安定利用に繋がるように努めて参ります。また、引き続き支援学校の実習生受け入れも積極的に行い、新規ご利用者獲得に向け支援学校との繋がり強化を図っていきます。

② 働きやすい環境づくり

2023年度は職員の入れ替わりもあり、上半期に実施したアンケートでは連携が課題として挙げられました。連携を強化するにあたり、まず具体的にどういった部分で連携不足が起きているのか職員全員で洗い出しを行いました。職員全員が当事者意識を持ち、一つ一つの課題に対し、解決策の考案、実施、改善策の考案を繰り返し行っていくことで、一丸となって行動することができました。また、情報共有方法も確立され、統一した支援にも繋がりました。下半期のアンケートでは、連携不足が解消し、働きやすくなったという意見が全員から挙がることとなりました。ワークライフバランスにおいては、職員全員が働きやすい環境となるよう2024年度も推進に取り組んでいきます。

③ ニーズ調査とサービスの質の向上

2023年度も「買い物活動がしたい(行事に参加したい)」「工賃を稼ぎたい」「様々な作業に挑戦したい」といった要望が多く挙げられました。

行事については、毎月1回企画・実施をしており、要望の多かった買い物活動を実施いたしました。また、身体を動かす機会を設けてほしいとのご要望もあったため、散策をする月を例年より増やし、さらに体育館で身体を動かす活動も取り入れました。たくさんのご利用者から「楽しかった」「来月も楽しみ」といったお声が挙がっています。2024年度においても、ご利用者のご要望に沿った行事が企画・実施できるよう計画して参ります。

工賃向上や作業への挑戦については、ご利用者一人ひとりのアセスメントを行いながら、全員が新たな作業種もしくは作業工程に参加する機会を設けました。携わる作業種が増えることにより、作業意欲が向上し、目標としていた平均工賃8,500円を越えることができました。月によって、工賃の変動があるため、安定した工賃が得られるよう引き続き作業の細分化やスキル向上に努めて参ります。

2. 利用者・職員の状況

(1) 就労継続支援B型 実人数 (月：定員 20名) (単位：名)

| | 2024年 | | | | | | | | | | 2025年 | | | 合計 |
|-----|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-----|------|----|
| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | | |
| 実績数 | 477 | 462 | 469 | 455 | 451 | 439 | 448 | 423 | 446 | 432 | 361 | 426 | 5289 | |

(2) 利用(開所)状況 (単位：日)

| | | 2023年 | | | | | | | | | | 2024年 | | | 合計 |
|------|-------|-------|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|-------|----|-----|----|
| | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | | |
| 開始時間 | 9:00 | 22 | 22 | 22 | 22 | 22 | 21 | 23 | 22 | 22 | 22 | 21 | 22 | 263 | |
| 終了時間 | 15:00 | | | | | | | | | | | | | | |

(3) 職員の状況 (2024年3月31日現在) (単位：名)

| 区分 | 管理者 | サービス管理責任者 | 職業指導員 | 生活支援員 | 目標工賃達成指導員 | 合計 |
|-------|-----|-----------|-------|-------|-----------|----|
| 常勤職員 | 1 | (1) | | 2 | 1 | 4 |
| 非常勤職員 | | | 2 | | | 2 |

※管理者、サービス管理責任者兼務

(4) 職員の勤務体制 (2024年3月31日現在)

A勤：7:30～17:00 8時間(60分休憩)

B勤：8:00～17:00 8時間(60分休憩)

3. 主な年間行事

| 実施月 | 実施行事 |
|-----|----------------------------------|
| 4月 | お花見：酒津公園散策。 |
| 5月 | 室内レクリエーション：倉敷体育館にて玉入れや飛行機飛ばしを実施。 |
| 6月 | 買い物活動：衣服・100円均一・本屋・駄菓子屋に分かれて実施。 |
| 7月 | ボウリング：サンフラワー。昼食にお楽しみ弁当。 |
| 8月 | 夏祭り：ドリンクバー、お面製作、だるま落とし等のブース設置。 |
| 9月 | 散策：酒津公園。 |
| 10月 | ハロウィン会：フォトブース撮影会。クイズ大会。 |
| 12月 | 忘年会：お楽しみ弁当、写真立て・メッセージカード製作。 |
| 1月 | 初詣：総社宮。 |
| 2月 | 映画：プラネタリアムでの全天周映画鑑賞。 |
| 3月 | 室内レクリエーション：カラオケ。 |

4. 施設整備

① 扉取付工事 2023年4月7日

| 事業の収支について | | | |
|------------|--------|-------------|--------|
| 収支内訳（資金内訳） | | 支出内訳（事業費内訳） | |
| 項目 | 金額（円） | 項目 | 金額（円） |
| 自己資金 | 98,670 | 修繕費 | 98,670 |
| 計 | 98,670 | 計 | 98,670 |

② 公用車の購入（トヨタヴォクシー） 2023年12月31日

| 事業の収支について | | | |
|------------|----------|-------------|----------|
| 収支内訳（資金内訳） | | 支出内訳（事業費内訳） | |
| 項目 | 金額（円） | 項目 | 金額（円） |
| 自己資金 | 727,500円 | 車輛運搬具取得支出 | 727,500円 |
| 計 | 727,500円 | 計 | 727,500円 |

1. 概要

法人基本理念である「利用者主体のニーズの追求」「ナンバーワンの福祉サービスを目指す」「職員が働きやすい環境作り」を基本方針とし、就労分野の特性を活かした福祉サービスの提供を行いました。利用者のニーズに応じたサービスの提供を行うと共に、個別支援計画の作成から実行まで本人・保護者の要望を反映し、個別支援に取り組んでいきました。

事業目標

- ① 「稼働率の安定」
- ② 「働きやすい環境づくり」
- ③ 「ニーズ調査とサービスの質の向上」

上記3つを事業目標として、ご利用者個々のニーズに応じたサービスの提供を行うとともに、個別支援計画の作成から実行までご本人・保護者のご要望を最大限尊重し、支援を行いました。

① 稼働率の安定について

就労継続支援A型では、月平均88%程度の稼働率となりました。要因としては、外注作業による開所日の増加、有給休暇取得による欠席になります。B型では、月平均96%程度の稼働率となりました。新規で支援学校卒業生2名と契約が出来たが、年度途中で4名利用終了となった点は課題と捉えています。2024年度も安定した稼働率が達成できるよう、新規利用者獲得に向けたアプローチを継続して行っていく。

② 働きやすい環境づくり

職員の異動もあり、チームワークの向上を課題と捉え、勉強会等の様々な取り組みを行って参りました。また、毎月業務改善案を職員から募り、職員会議にて改善策を検討する時間を設ける等、働きやすい環境作りに取り組みました。年度末にはアンケートを実施し、チームワークの向上により以前より働きやすくなったと多くの意見が挙がりました。

③ ニーズ調査とサービスの質の向上

サービス満足度調査に挙げた意見要望に対して職員間で話し合い、具体的な改善まで行いました。利用者の個別的かつ多様なニーズに応えられるように、アセスメントや面談の機会を設け、ご利用者の主訴を傾聴しながら支援を行いました。新型コロナウイルスの影響もあり、保護者と対面での面談が難しかった際は電話にて情報交換を行い、より良い支援の実施に向けて取り組みました。余暇支援の充実に向け、年間11回の行事を計画、実施しました。参加したご利用者からは喜びの声が多く聞かれたため、次年度からも余暇支援に力を入れていきたいと考えています。

2. 利用者・職員の状況

(1) 就労継続支援A型 実人数 (定員10名) (単位:名)

| | 2023年 | | | | | | | | | | 2024年 | | | 合計 |
|-----|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-----|------|----|
| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | | |
| 実績数 | 190 | 192 | 214 | 196 | 193 | 179 | 209 | 190 | 200 | 184 | 185 | 196 | 2328 | |

就労継続支援B型 実人数（定員 10名） （単位：名）

| | 2023年 | | | | | | | | | | 2024年 | | | 合計 |
|-----|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-----|------|----|
| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | | |
| 実績数 | 224 | 234 | 254 | 225 | 228 | 198 | 218 | 204 | 195 | 199 | 165 | 182 | 2526 | |

(2) 利用（開所）状況

就労継続支援A型 実人数（定員 10名） （単位：日）

| | | 2023年 | | | | | | | | | | 2024年 | | | 合計 |
|------|-------------|-------|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|-------|----|-----|----|
| | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | | |
| 開始時間 | A勤 9:00 | 22 | 22 | 23 | 22 | 22 | 21 | 23 | 22 | 22 | 22 | 21 | 22 | 264 | |
| | B勤 10:30 | | | | | | | | | | | | | | |
| 終了時間 | A勤 16:00 | 22 | 22 | 23 | 22 | 22 | 21 | 23 | 22 | 22 | 22 | 21 | 22 | 264 | |
| | B勤 17:30 | | | | | | | | | | | | | | |

(単位：日)

| | | 2023年 | | | | | | | | | | 2024年 | | | 合計 |
|------|-------|-------|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|-------|----|-----|----|
| | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | | |
| 開始時間 | 9:00 | 22 | 22 | 22 | 22 | 22 | 21 | 23 | 22 | 22 | 22 | 21 | 22 | 263 | |
| 終了時間 | 15:00 | | | | | | | | | | | | | | |

(3) 職員の状況（2024年3月31日現在） （単位：名）

| 区分 | 管理者 | サービス管理責任者 | 職業指導員 | 生活支援員 | 目標工賃達成指導員 | 合計 |
|-------|-----|-----------|-------|-------|-----------|----|
| 常勤職員 | 1 | (1) | | 2 | 1 | 4 |
| 非常勤職員 | | | 3 | | | 3 |

※管理者、サービス管理責任者兼務

(4) 職員の勤務体制（2024年3月31日現在）

- A勤：8:00～17:00 8時間（60分休憩）
- B勤：8:30～17:30 8時間（60分休憩）
- C勤：9:00～15:45 6時間（45分休憩）
- D勤：9:30～16:15 6時間（45分休憩）

3. 主な年間行事

| 実施月 | 実施行事 |
|-----|-------------------------------------|
| 4月 | お花見：雨天のため、ドライブを実施。 |
| 5月 | セレクト弁当：ホットモットのお弁当を選んで昼食購入。 |
| 6月 | セレクト昼食：マクドナルド、すき屋、丸亀製麺から選んで昼食購入。 |
| 7月 | 外出活動：イオンモール倉敷にて買い物、外食の実施。 |
| 8月 | 親睦会：事業所の利用者全員参加で、すたみな太郎にて外食。 |
| 9月 | 社会見学：岡山県警察の見学を実施。 |
| 10月 | 外出活動：農まる園芸にて買い物を実施。 |
| 11月 | 外出活動：アリオ倉敷にて買い物、外食の実施。 |
| 12月 | クリスマス会：事業所内にて調理活動（オムハヤシ）、ビンゴゲームの実施。 |
| 1月 | 新年会：事業所の利用者全員参加で、すたみな太郎にて外食。 |
| 3月 | 社会見学：倉敷消防署の見学を実施 |

4. 施設整備

① 公用車（ボンゴトラック）購入 2023年11月26日

| 事業の収支について | | | |
|------------|---------|-------------|---------|
| 収支内訳（資金内訳） | | 支出内訳（事業費内訳） | |
| 項目 | 金額（円） | 項目 | 金額（円） |
| 自己資金 | 945,000 | 器具及び備品取得支出 | 945,000 |
| 計 | 945,000 | 計 | 945,000 |

1. 概要

法人基本理念である「利用者主体のニーズの追求」「ナンバーワンの福祉サービスを目指す」「職員が働きやすい環境作り」を基本方針とし、就労分野の特性を活かした福祉サービスの提供を行いました。利用者のニーズに応じたサービスの提供を行うと共に、個別支援計画の作成から実行まで本人・保護者の要望を反映し、個別支援に取り組んでいきました。

事業目標

- ① 「稼働率の安定」
- ② 「働きやすい環境づくり」
- ③ 「ニーズ調査とサービスの質の向上」

上記3つを事業目標として、ご利用者個々のニーズに応じたサービスの提供を行うとともに、個別支援計画の作成から実行までご本人・保護者のご要望を最大限尊重し、支援を行いました。

① 稼働率の安定について

2023 年度 4 月より就労移行支援、自立訓練事業を廃止し 40 名定員の就労継続支援 B 型として事業所をスタートさせました。12 月には事業所の移転するため営業地域が変わること、年度中に定員数を 20 名に変更することの理由から積極的な新規契約等は行わず、現状ご利用されているご利用者の安定した通所を目的とし、営業して参りました。

定員数変更後、新たに営業活動を再開し、新規ご利用者 1 名と新規契約が出来ております。羽島を始めとした周辺地域の方から数件見学の依頼を受けており、地域におけるニーズが把握出来ました。

2023 年度 3 月は稼働率が 85%となっており、目標とする数値(95%)には届いておりませんが、2024 年度の稼働率の安定に向け営業を行って参ります。

② 働きやすい環境づくり

2023 年度は年度途中の職員異動が多かったこと、事業の変更があったこと等、チームワークが課題となる 1 年でした。チームワークの向上に向けて勉強会等の様々な取り組みを行って参りました。また、チームワークに関する意識調査(アンケート方式：60 点満点)を年間で 3 回行い、点数の比較を行って参りました。第 1 回目の調査に比べ、2,3 回は点数が向上しましたが第 3 回は移転後の調査だったため、第 2 回に比べ多少点数が悪くなっていますが、原因や理由は職員間で把握出来ており、各々が自主的に改善に向けた行動を取ることが出来ていました。チームワークの向上により、以前より働きやすくなったと多くの意見が挙がりました。

③ ニーズ調査とサービスの質の向上

年度当初にニーズ調査を行ったところ、「外出訓練、買い物訓練に参加したい」といったご意見が多く挙げられています。希望者が平等に参加出来るよう毎月、訓練の機会を設け社会性や満足度の向上に向けた取り組みを行って参りました。訓練での様子を連絡ノートにてお伝えする、写真を配布する等を行うことで、ご家族から喜びの声をいただいています。また、就労移行、自立訓練の事業は廃止したが、引き続き同等のサービスを受けたいといったニーズもあったため、事業所内で「作業班、就職班、生活訓練班」の班分けを行いこれまでと同様のサービスの提供、支援を行っています。

2. 利用者・職員の状況

(1) 就労継続支援B型 実人数 (4~1月：定員40名 2,3月：定員20名) (単位：名)

| | 2023年 | | | | | | | | | | 2024年 | | | 合計 |
|-----|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-----|------|----|
| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | | |
| 実績数 | 444 | 456 | 467 | 360 | 423 | 431 | 446 | 431 | 406 | 369 | 346 | 374 | 4953 | |

(2) 利用(開所)状況 (単位：日)

| | 2023年 | | | | | | | | | | 2024年 | | | 合計 |
|------|-------|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|-------|----|-----|----|
| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | | |
| 開始時間 | 9:00 | | | | | | | | | | | | | |
| 終了時間 | 15:00 | 22 | 22 | 22 | 22 | 22 | 21 | 23 | 22 | 22 | 21 | 22 | 263 | |

(3) 職員の状況 (2024年3月31日現在) (単位：名)

| 区分 | 管理者 | サービス管理責任者 | 職業指導員 | 生活支援員 | 目標工賃達成指導員 | 合計 |
|-------|-----|-----------|-------|-------|-----------|----|
| 常勤職員 | 1 | (1) | | 2 | | 3 |
| 非常勤職員 | | | 1 | 2 (1) | 1 (1) | 5 |

※管理者、サービス管理責任者兼務

※非常勤職員1名 生活支援員、目標工賃達成指導員兼務

(4) 職員の勤務体制 (2024年3月31日現在)

A勤：8：30～17：00 7時間 (60分休憩)

B勤：8：00～17：00 8時間 (60分休憩)

C勤：9：45～15：30 5.5時間 (15分休憩)

3. 主な年間行事

| 実施月 | 実施行事 |
|-----|---------------------------------|
| 4月 | 春のお楽しみ会：自己紹介カードを作成し、全体で自己紹介を実施。 |
| 5月 | グループ別外出：渋川マリン水族館。 |
| 6月 | グループ別外出：農マル園芸。 |
| 7月 | グループ別外出：ボウリング。 |
| 8月 | 納涼会：クイズ大会。岡山さくら弁当を注文。 |
| 9月 | 全体外出：くぼ農園、ピザ作り。 |
| 10月 | 茶話会：岡山さくら弁当を注文。 |
| 12月 | クリスマス会：もみじ堂で弁当注文、シャトレーゼでケーキ注文。 |
| 1月 | 凧あげ：凧の作成、凧あげ。 |
| 3月 | 全体外出：農マル園芸、いちご狩り。 |

4. 施設整備

① PC購入 2023年7月26日

| 事業の収支について | | | |
|------------|---------|-------------|---------|
| 収支内訳（資金内訳） | | 支出内訳（事業費内訳） | |
| 項目 | 金額（円） | 項目 | 金額（円） |
| 自己資金 | 181,500 | 器具及び備品取得支出 | 181,500 |
| 計 | 181,500 | 計 | 181,500 |

② 新設建物費用 2023年9月

| 事業の収支について | | | |
|------------|------------|-------------|------------|
| 収支内訳（資金内訳） | | 支出内訳（事業費内訳） | |
| 項目 | 金額（円） | 項目 | 金額（円） |
| 自己資金 | 36,450,170 | その他の取得支出 | 36,450,170 |
| 計 | 36,450,170 | 計 | 36,450,170 |

1. 概要

法人基本理念である「利用者主体のニーズの追求」「ナンバーワンの福祉サービスを目指す」「職員が働きやすい環境作り」を基本方針とし、就労分野の特性を活かした福祉サービスの提供を行いました。利用者のニーズに応じたサービスの提供を行うと共に、個別支援計画の作成から実行まで本人・保護者の要望を反映し、個別支援に取り組んでいきました。

事業目標

- ① 「稼働率の安定」
- ② 「働きやすい環境づくり」
- ③ 「ニーズ調査とサービスの質の向上」

上記3つを事業目標として、ご利用者個々のニーズに応じたサービスの提供を行うとともに、個別支援計画の作成から実行までご本人・保護者のご要望を最大限尊重し、支援を行いました。

① 稼働率の安定について

今年度4月～6月に掛けて、稼働率が100%を超える開所日があったため、利用調整を行っていません。兼ねてから他事業所への移行を希望されていたご利用者について、担当相談員とも連携を図り事業所見学・体験利用を進め、8月より就労継続支援B型事業所（就労支援はれる）へ移行しています。利用調整を行い年間平均稼働率は96.5%となりましたが、2024年度に利用者1名が同一法人就労継続支援B型事業所（みのり）への移行を予定している為、稼働率が低下する見込みです。安定した事業運営のためにも、新規利用者の受け入れを強化していきます。また、半日や短時間での利用を希望される方の受け入れ体制を整え、より多くの方々にサービスを提供できるよう努めて参ります。

② 働きやすい環境づくり

職員を対象に業務改善に関するアンケートを実施し、それを基に個別面談を行っています。アンケートと面談から挙げた意見を中心に業務改善に取り組んで参りました。サービス管理責任者とも協議し、職員の休憩の取り方を工夫することで、複数人でフロアを把握する時間を延ばし、ご利用者の皆様により安全に過ごしていただけるよう環境整備を行っています。

また、職員間の報連相を強化し、伝達漏れによるミスが少なくなるよう努めました。職員が独で物事を決めないように、迷った場合は上位職員に相談する、終礼等で統一した方法を検討し実行することで、職員間の連携が以前よりも円滑にできるようになりました。今後も継続して、職員の働きやすい環境づくりを行い、質の高いサービスが提供できるよう精進して参ります。

③ ニーズ調査とサービスの質向上

今年度、全ご利用者を対象に個別面談を実施し、挑戦してみたい作業工程や施設外就労、参加してみたい外出活動や室内行事等についてニーズ調査を行っています。「バリ取りでニッパーを使用した作業工程に挑戦したい」「夏祭りでかき氷が食べたい」「日本一の駄菓子売り場で買い物をしたい」「コンパスでバーベキューをしたい」など、様々なご意見をいただき、支援や余暇活動に反映させています。コロナ禍で外出活動を控えていたこともあり、買い物や外食に対してのニーズが多く、参加されたご利用者の皆様からは「参加できて良かった、また行きたい」と満足度の高いお声を頂いています。

これからも、ご利用者お一人おひとりのニーズにお応えできるよう、個別面談を継続し、一つでも多くのご意見を支援に反映できるよう努めて参ります。

2. 利用者・職員の状況

(1) 就労継続支援B型 実人数 (定員 20名) (単位：名)

| | 2023年 | | | | | | | | | | 2024年 | | | 合計 |
|-----|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-----|------|----|
| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | | |
| 実績数 | 444 | 461 | 453 | 414 | 411 | 416 | 435 | 427 | 441 | 417 | 368 | 392 | 5079 | |

(2) 利用(開所)状況 (単位：日)

| | | 2023年 | | | | | | | | | | 2024年 | | | 合計 |
|------|-------|-------|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|-------|----|-----|----|
| | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | | |
| 開始時間 | 9:00 | 22 | 21 | 22 | 22 | 22 | 22 | 23 | 22 | 22 | 22 | 21 | 22 | 263 | |
| 終了時間 | 15:00 | | | | | | | | | | | | | | |

(3) 職員の状況 (2024年3月31日現在) (単位：名)

| | 管理者 | サービス管理責任者 | 職業指導員 | 生活支援員 | 目標工賃達成指導員 | 合計 |
|-------|-----|-----------|-------|-------|-----------|----|
| 常勤職員 | (1) | 1 | 1 | | 1 | 3 |
| 非常勤職員 | | | 1 | 2 | | 3 |

※管理者、つむぎ管理者を兼務。

(4) 職員の勤務体制 (2024年3月31日現在)

A勤：8:00～17:00 8時間 (60分休憩)

B勤：8:15～17:15 8時間 (60分休憩)

C勤：8:30～17:30 8時間 (60分休憩)

D勤：9:00～15:00 5.5時間 (30分休憩)

E勤：8:00～16:00 7時間 (60分休憩)

3. 主な年間行事

| 実施月 | 実施行事 |
|-----|-----------------------------------|
| 4月 | 花見 お弁当を購入し、福田公園にて花見を実施。 |
| 8月 | 夏まつり 屋台(カレー・フランクフルト・かき氷)とゲームを行った。 |
| 9月 | 外出活動 MISAO牧場にてジェラートを飲食。 |
| 10月 | ハロウィンパーティ 仮装とレクリエーションを行う。 |
| 11月 | サツマイモ収穫。希望者を募り、収穫を行った。 |
| 12月 | クリスマス・忘年会 |
| 1月 | 初詣 熊野神社を参拝。 |
| 2月 | 外出活動 日本一のだがし売り場で買い物。 |

4. 施設整備

① PC購入 2023年9月13日

| 事業の収支について | | | |
|------------|---------|-------------|---------|
| 収支内訳（資金内訳） | | 支出内訳（事業費内訳） | |
| 項目 | 金額（円） | 項目 | 金額（円） |
| 自己資金 | 190,190 | 車両運搬具取得支出 | 190,190 |
| 計 | 190,190 | 計 | 190,190 |

1. 概要

法人基本理念である「利用者主体のニーズの追求」「ナンバーワンの福祉サービスを目指す」「職員が働きやすい環境作り」を基本方針とし、就労分野の特性を活かした福祉サービスの提供を行いました。利用者のニーズに応じたサービスの提供を行うと共に、個別支援計画の作成から実行まで本人・保護者の要望を反映し、個別支援に取り組んでいきました。

事業目標

- ① 「稼働率の安定」
- ② 「働きやすい環境づくり」
- ③ 「ニーズ調査とサービスの質の向上」

上記3つを事業目標として、ご利用者個々のニーズに応じたサービスの提供を行うとともに、個別支援計画の作成から実行までご本人・保護者のご要望を最大限尊重し、支援を行いました。

① 稼働率の安定について

2023年度は、新規利用者が5名、契約終了者が6名、3月末の最終契約者数が22名でした。2023年度は関係機関に営業を行いながら、毎月行事の実施や半日送迎を行い稼働率につながるように努めました。残念ながら、年間平均の稼働率が85.5%となっており、目標とする稼働率95%には届きませんでした。要因として、ご利用者の3分の2が50代後半～70代であり、体力低下により週の中休みを希望される方が増え、加えて通院等で定期的な休みがあったことが挙げられます。2024年度は契約者の安定した利用を図ることと、新規利用者の積極的確保を行い、稼働率の安定を図って参ります。

② 働きやすい環境づくり

事業所が楽しく、働きやすい環境へと成長できるよう、職員へのアンケートを実施し、現場職員の意見を吸い上げ、環境改善を行いました。「日中に話し合う時間を作れず、パートと職員が話をゆっくりできる時間がない。そのため、支援方法にずれがあり、難しさが出てきている」との意見があり、報連相の強化に向けて取り組みました。パートも参加できる時間帯に終礼を行うための調整や、連絡ボードを活用し、情報を共有することで意見交換ができる時間を意図的に増やしました。その結果、年度末のアンケートでは、90%の職員が「働きやすくなった」と返答をしています。

職員の支援力を上げ、ご利用者が安心して作業ができる環境を整えていくためにも、職員間の報連相は必須です。今後もパートと職員が意見交換できる時間を大切に、働きやすい職場づくりに努めて参ります。

③ ニーズ調査とサービスの質の向上

作業の細分化を図り、ご利用者に作業内容を説明した上で、「やりたい作業」「興味のある作業」「やりたくない作業」の聞き取りを行い、ご利用者のニーズを把握するとともに、新たな作業に取り組んでいただき、意欲向上を目指しました。新たな作業ができるようになったことや仕上がりの質が上がったことで、「自信につながった」「もっといろいろなことに挑戦したい」との思いが育ち、ステップアップを希望されるご利用者も増えました。今年度は2名の方が就労継続支援A型に移行されました。

また、作業環境について個別スペースを増やすことで、「自分のペースで作業ができる」「人に見られているプレッシャーを感じずに作業ができる」との安心感から、集中して作業に取り組むことができ、生産性が上がり、自信につながったご利用者も多くおられました。

2024年度もご利用者の声を大切に、安心して継続利用ができる事業所を目指していきます。

2. 利用者・職員の状況

(1) 就労継続支援B型 実人数 (定員20名) (単位:名)

| | 2023年 | | | | | | | | | | 2024年 | | | 合計 |
|-----|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-----|------|----|
| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | | |
| 実績数 | 366 | 374 | 395 | 393 | 377 | 357 | 384 | 371 | 384 | 383 | 353 | 364 | 4501 | |

(2) 利用(開所)状況 (単位:日)

| | | 2023年 | | | | | | | | | | 2024年 | | | 合計 |
|------|-------|-------|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|-------|----|-----|----|
| | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | | |
| 開始時間 | 9:00 | 22 | 22 | 22 | 22 | 22 | 21 | 23 | 22 | 22 | 22 | 21 | 22 | 263 | |
| 終了時間 | 15:00 | | | | | | | | | | | | | | |

(3) 職員の状況 (2024年3月31日現在) (単位:名)

| 区分 | 管理者 | サービス管理責任者 | 職業指導員 | 生活支援員 | 目標工賃達成指導員 | 合計 |
|-------|-----|-----------|-------|-------|-----------|----|
| 常勤職員 | 1 | (1) | 1 | | 1 | 3 |
| 非常勤職員 | | | | 2 | | 2 |

※管理者、サービス管理責任者兼務

(4) 職員の勤務体制 (2024年3月31日現在)

A勤: 8:00~17:00 8時間 (60分休憩)

B勤: 7:45~16:45 8時間 (60分休憩)

C勤: 8:30~16:30 7時間 (60分休憩)

3. 主な年間行事

| 実施月 | 実施行事 |
|-----|--------------------------------|
| 4月 | 誕生日会・花見 |
| 5月 | 誕生日会・外出活動(散策)・避難訓練(水害) |
| 6月 | 茶話会・外出活動(ボーリング) |
| 7月 | 誕生日会・七夕会・夏祭り |
| 8月 | 誕生日会 |
| 9月 | 茶話会・室内運動会・避難訓練(震災) |
| 10月 | 誕生日会・外出活動①(ファミレス)・外出活動②(バイキング) |
| 11月 | 誕生日会・音楽鑑賞会 |
| 12月 | 誕生日会・茶話会 |

| | |
|----|----------------|
| 1月 | 誕生日会・避難訓練(不審者) |
| 2月 | 誕生日会・制作活動 |
| 3月 | 誕生日会 |

4. 施設整備

① PC購入 2023年4月20日

| 事業の収支について | | | |
|-------------|---------|--------------|---------|
| 収支内訳 (資金内訳) | | 支出内訳 (事業費内訳) | |
| 項目 | 金額 (円) | 項目 | 金額 (円) |
| 自己資金 | 211,448 | 器具及び備品取得支出 | 211,448 |
| 計 | 211,448 | 計 | 211,448 |

1. 概要

法人基本理念である「利用者主体のニーズの追求」「ナンバーワンの福祉サービスを目指す」「職員が働きやすい環境作り」を基本方針とし、就労分野の特性を活かした福祉サービスの提供を行いました。利用者のニーズに応じたサービスの提供を行うと共に、個別支援計画の作成から実行まで本人・保護者の要望を反映し、個別支援に取り組んでいきました。

事業目標

- ① 「稼働率の安定」
- ② 「働きやすい環境づくり」
- ③ 「ニーズ調査とサービスの質の向上」

上記3つを事業目標として、ご利用者個々のニーズに応じたサービスの提供を行うとともに、個別支援計画の作成から実行までご本人・保護者のご要望を最大限尊重し、支援を行いました。

① 稼働率の安定について

2023年4月1日より開所、新規利用者の受け入れを積極的に行い、2024年3月末時点で、利用登録者数は20名となりました。1日の平均利用者数は14.7名で、受け入れ可能人数には若干の余裕があるため、継続して新規利用者の受け入れを行っていきます。

支援学校の実習生については、今年度4件お受けしています。保護者と進路指導教員と情報共有を密に行い、卒業後の進路先として選んでいただけるようアプローチしています。2024年度も支援学校の実習生を積極的に受け入れ、就労継続支援B型の利用を希望される方にサービスを提供できるよう、利用調整を行います。また、水島・児島地区の方も多く利用されているため、各地域の相談支援事業所にも赴き、事業所のPRを進めていくとともに、まずは事業所について認知していただけるよう、地域との連携強化に努めて参ります。

② 働きやすい環境づくり

全職員を対象に業務改善アンケートを取り、面談を実施しています。そこで挙がった意見について業務改善を図り、職員が働きやすい環境づくりに繋げて参りました。今年度は、新規で内職作業や施設外就労を受託する機会が多く、新採用や人事異動で新しく入職される職員も多かったため、業務の引継ぎに多くの時間を費やしました。その甲斐もあり、納品や施設外就労に対応できる職員が増え、通常業務も円滑に回すことができるようになりました。まだまだ課題はありますが、事業所立ち上げ当初にあった慌たしさも少しずつ落ち着いてきており、サービスの質向上に注力するための基盤形成の一年となりました。

③ ニーズ調査とサービスの質の向上

2023年度は新採用の職員が多く在籍したため、サービスの質を維持するためにも、職員の人材育成に注力しました。職員会議等で障害特性の理解や権利擁護、リスクマネジメントに関する勉強会を実施し、福祉施設従事者として基礎的な知識・能力向上に努めました。また、ご利用者の作業スキル向上のための支援と環境設定、施設外就労の機会の確保を進めてきました。下半期より、ご利用者の皆様にニーズ調査を行い、室内行事や外出活動に反映させてきました。全てのご意見についてお応えできないため、2024年度も継続して、ご利用者のニーズに沿った余暇活動が提供できるよう、企画して参ります。

2. 利用者・職員の状況

(1) 就労継続支援B型 実人数 (定員 20名) (単位：名)

| | 2023年 | | | | | | | | | | 2024年 | | | 合計 |
|-----|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-----|------|----|
| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | | |
| 実績数 | 315 | 308 | 331 | 321 | 313 | 330 | 353 | 333 | 322 | 298 | 290 | 339 | 3853 | |

(2) 利用(開所)状況 (単位：日)

| | | 2023年 | | | | | | | | | | 2024年 | | | 合計 |
|------|-------|-------|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|-------|----|-----|----|
| | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | | |
| 開始時間 | 9:00 | 22 | 22 | 22 | 22 | 22 | 21 | 23 | 22 | 22 | 22 | 21 | 22 | 263 | |
| 終了時間 | 15:00 | | | | | | | | | | | | | | |

(3) 職員の状況 (2024年3月31日現在) (単位：名)

| 区分 | 管理者 | サービス管理責任者 | 職業指導員 | 生活支援員 | 目標工賃達成指導員 | 合計 |
|-------|-----|-----------|-------|-------|-----------|----|
| 常勤職員 | (1) | 1 | 1 | | 1 | 4 |
| 非常勤職員 | | | | 3 | | 3 |

※管理者、コンパス管理者兼務

(4) 職員の勤務体制 (2024年3月31日現在)

A勤：7：45～16：45 8時間 (60分休憩)

B勤：8：00～17：00 8時間 (60分休憩)

C勤：9：45～15：30 5.5時間 (15分休憩)

3. 主な年間行事

| 実施月 | 実施行事 |
|-----|-------------------------|
| 4月 | 開所式 |
| 7月 | レクリエーション・お弁当注文 |
| 8月 | 納涼会：輪投げ・屋台 (アイス) |
| 10月 | 外出行事：ライフパーク倉敷 映画鑑賞 |
| 12月 | クリスマス会：ケーキ作り・ビンゴゲーム |
| 3月 | お疲れ様会：喫茶 TAKAO ケーキセット飲食 |